組付要領書及び部品表

Takakita

Mixソーク

MX2200用

日農工標準オートヒッチキット　　MX－0SS

本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社タカキタ

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**Ｍｉｘソーワ用日農工標準オートヒッチ（０：Ｉ規格）用部品**の組付要領について記載してあります。組付前には必ず、この組付要領書をお読みの上、正しく組付けてください。

また、ご使用前にはＭｉｘソーワ本体の取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- ●お読みになったあとも、必ず製品に近接して保存してください。
- ●製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡しください。
- ●この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または弊社にご注文ください。
- ●本書は、注意として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- ●なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ●ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠警告サイン

⚠印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠危険 **その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。**

⚠警告 **その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。**

⚠注意 **その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。**

標準オートヒッチ（０Ｓ形）の組付け　　ＭＸ－０ＳＳ

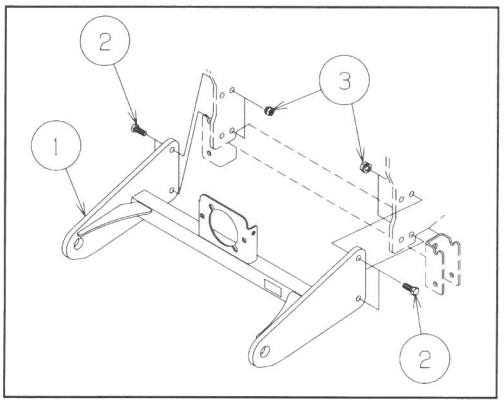
日農工標準オートヒッチ０・Ⅰ用部品

日農工標準オートヒッチ０・Ⅰ規格（０Ｓ形）をお持ちのお客様は、下記のアタッチ部品を組付けていただくとオートヒッチで本機の着脱ができます。

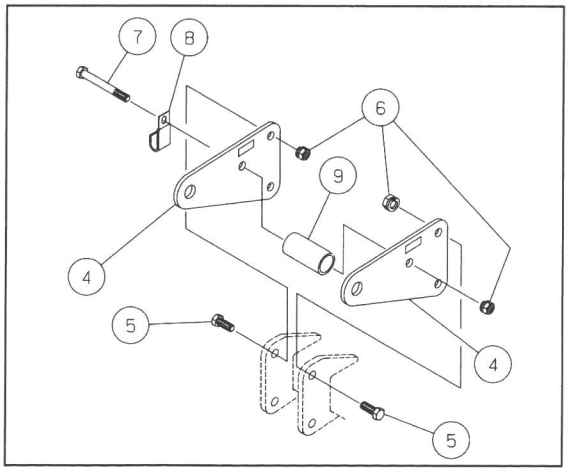
◆ 組付け手順

[1]フレーム関係の組付け

（１）①ロワーリンクブラケットを本機フレーム側のロワーリンク部の外側に②ボルト（Ｍ１２×４０（８Ｔ））、③スプリングナットで組付けてください。

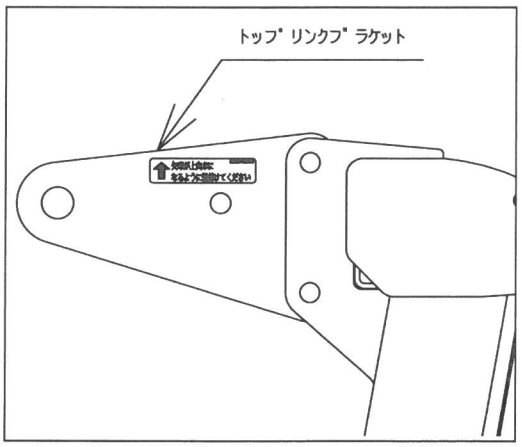


（２）④トップリンクブラケットを本機フレーム側トップリンク部の内側に⑤ボルト（Ｍ１２×３０）で組付け、⑦ボルト（Ｍ１２×８０）で⑧クランプ、⑨カラーを組付け、⑥スプリングナットで固定してください。



注意

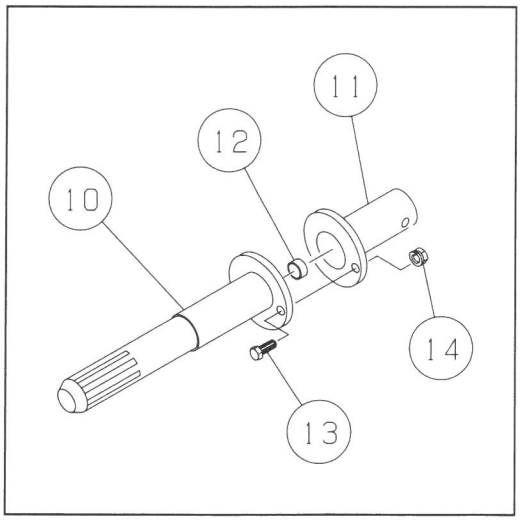
④トップリンクブラケットは下図の様に、矢印が上向きになるように組付けてください。



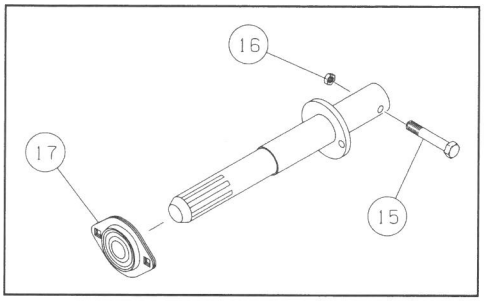
[2]軸関係の組付け

（１）スプライン入力軸の組立

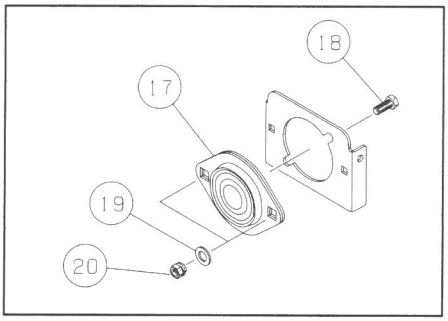
⑩スプライン入力軸と⑪シェアホイルの間に⑫ドライメットブッシュを組付け、⑬シェアボルト（Ｍ６×２５（8Tゼンネジ））と⑭ナイロンナットを組付けてください。



（２）（１）で組み立てたスプライン入力軸を本機側の入力軸に接続し、⑮セットボルト（Ｍ８×４５）、⑯ナイロンナットで固定してください。
スプライン入力軸には⑰ベアリングを組付けてください。



（２）⑰ベアリングをロワーリンクブラケットに⑱ボルト（Ｍ１０×２５）、⑲ヒラザガネ、⑳スプリングナットで組付けてください。

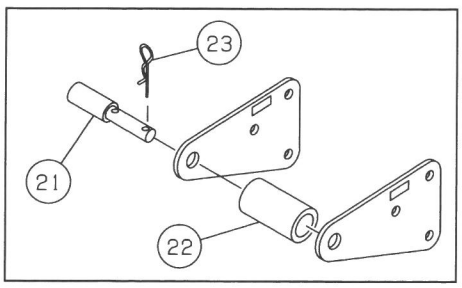


注意

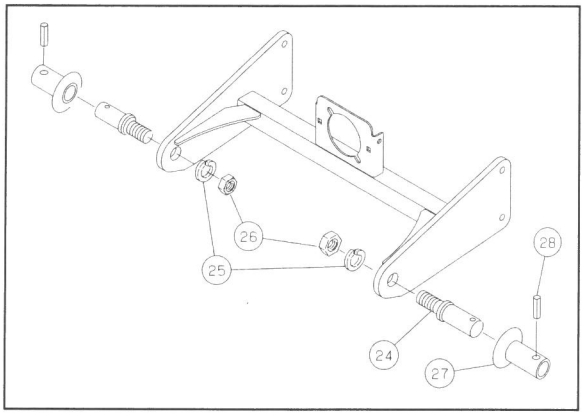
ベアリングを組込む時は、スプライン入力軸がブラケット穴の中央で組付けられていることを確認してください。
ズレたまま無理に組付けると、軸折れ等の原因となります。

[3]カラーの取付け

（１）トップリンクブラケットに㉑トップリンクピン、㉒トップリンクカラー、㉓アールピンを組付けてください。



（２）ロワーリンクブラケットに㉔ロワーリンクピン、㉕バネザガネ、㉖ナットでそれぞれ外側向きに組付けてください。
組付けたロワーリンクピンに㉗ガイドカラー、㉘ロールピンを組付けてください。



[4]スタンドの取付け

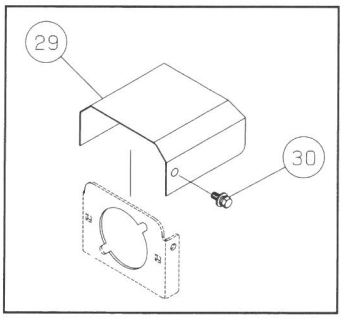
次ページの図のように、リンチピンでスタンドを組付けてください。

[5]仮ドッキング

スプライン入力軸を手で回し、アジテータがスムーズに回ることが確認できましたら、トラクタにドッキングしてください。

[6]ジクカバーの組付け

最後に㉙ジクカバーを㉚ボルト（Ｍ８×２０）で組付けてください。



⚠ 注 意

使用前に各部の組付けに誤りがないか、ボルト・ナット等が確実に締付けられているかを必ず確認してください。

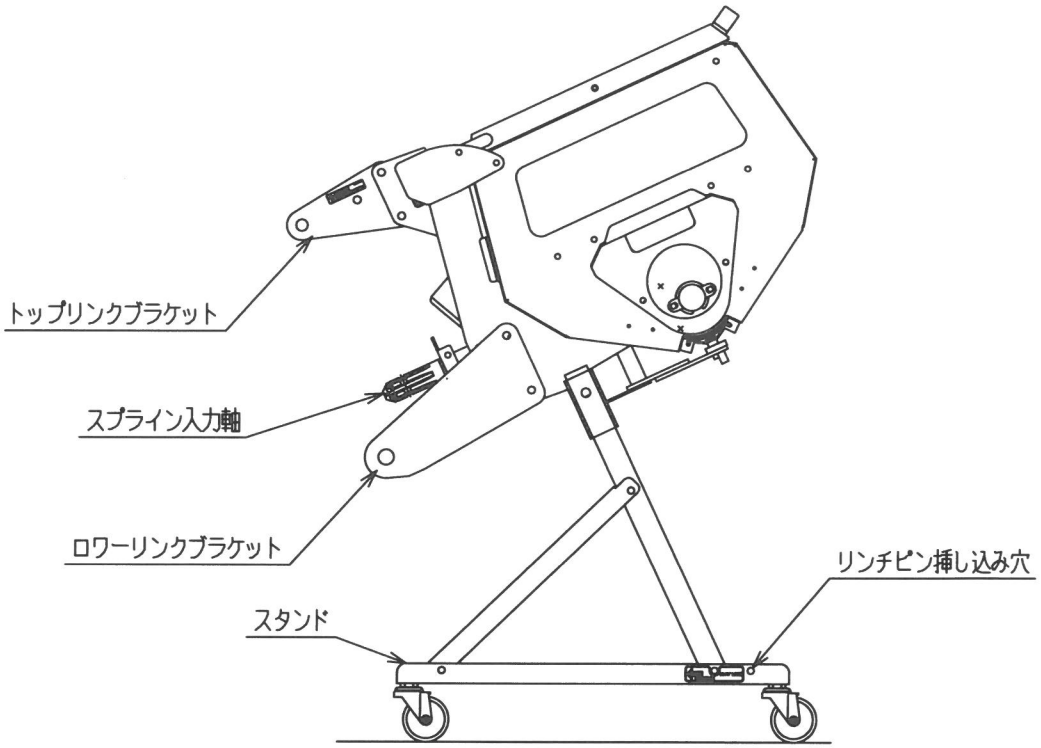
標準オートヒッチ（０Ｓ形）の組付け　　ＭＸ－０ＳＳ

注意

- 本機の装着後、トラクタのロワーリンクをゆっくり上げ、最大持ち上げ範囲まで各部が干渉しないことを確認してください。
- トラクタの３点リンクの持ち上げ規制装置で、上昇範囲を制限してご使用ください。

◆組立完成図

《日農工標準オートヒッチ（０Ｓ形)》



スタンドの組付けはスタンドステッカーの矢印が進行方向になるように組付けて下さい。